

現存する日本最古の上水道といわれ、今でも約120戸の飲料・生活用水として使用されている。また、名水百選に選ばれた。一般にも憩いの場として知られ、涼を求める場所として、散策の場として大人から子供まで水に親しめる空間となっている。



宇土市は、有明海に面する宇土半島の基部に位置する。

その市街地から西へ約四キロ、宇土

山麓の深い木立ちの中に肥後三名泉の一つとされる轟水源がある。一日三〇〇〇立方メートルの良質の水が湧き

ことなく湧出し、とくに夏は涼を求める人々で賑わっている。

ここを水源とする轟水道は江戸初期正保年間（一六四〇年代）、当時の宇土藩主細川行孝公がつくったもので、完成当初は延長五キロ、不知火焼の土管（直径約一・七センチ長さ約四・五センチ）を埋めて送水管としたものであった。日本最古の上水道といわれ、今なお約一二〇戸の家庭の飲料、生活用水として利用されており、地区住民の誇りとする生きた遺産となっている。

水源地の清掃および保全管理は、市轟泉簡易水道組合によって行われており、市のシンボルの社会資本として広く親しまれている。

データボード⑤⑧

- ① 熊本県宇土市
- ② 宇土市役所 ☎0964-22-1111
- ③ 水源池1,150㎡
- ④ 休憩広場、案内板、植栽、等
- ⑤ 水神祭